

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部附属病院泌尿器科では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、対象に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、お申し出ください。研究期間にご連絡した時点より集計対象から除外することを保証致します。

平成 29 年 2 月 22 日 福井大学医学部附属病院 泌尿器科

【研究課題名】

膀胱全摘出術を受けた患者の、尿路感染症発症の要因に関する研究

【研究期間】

平成 29 年 2 月 22 日～平成 30 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

膀胱全摘出術を受ける患者は、癌の進行度、既往疾患、腎機能、患者の ADL、社会的背景などを踏まえ、尿路変更の術式を選択する。どの術式においても、尿路感染症は共通している。同じ術式を受けた患者でも、尿路感染症を発症する患者としない患者がいる。これは、患者の自己管理だけに由来するものではなく、基礎疾患や手術時の影響なども影響しているのではないかと考えられた。尿路感染症を繰り返す事は腎機能の悪化や QOL 低下だけでなく、入退院を繰り返す事による医療費の高騰にも繋がる。

そこで、患者の自己管理以外で尿路感染症発症の要因になにがあるか、診療録から収集した情報をもとに分析することにより明らかにする。尿路変更に伴う尿路感染症において、患者の自己管理以外の要因が分かれば、早期より尿路感染症に対する介入が可能となり、その回数の減少に繋げる事が可能となる。

【研究方法】

研究対象：平成 10 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日に、福井大学医学部附属病院で膀胱全摘出術を受け、尿路変更を新膀胱・回腸導管・尿管皮膚瘻のいずれかで造設した患者約 150 名

【調査項目】

- (1) 患者背景、年齢、性別、癌の病期、組織型、尿路変更の種類、腎機能などの血液データ
- (2) 術者、手術時間、出血時間、マーキングの有無、皮下脂肪の厚さなどストーマ造設時の状況
- (3) 装具交換などのケア者、尿路感染症の有無と種類、カテーテル留置の有無など術後の管理方法
- (4) 在宅療養相談室の介入の有無
- (5) 留置しているカテーテルの種類と交換頻度
- (6) 尿路感染症が原因での入院回数、期間、治療費
- (7) 抗生剤などの投薬治療の有無、期間

【研究組織】	実施責任者	青木芳隆	泌尿器科	助教
	研究分担者	横山修	泌尿器科	教授
		松田陽介	泌尿器科	助教
		岡田昌裕	泌尿器科	医員
		関雅也	泌尿器科	医員
		宮永友美	看護部	看護師

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究は、データのみ扱い、個人情報 を 厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせ等がございましたら、下記へご連絡ください。

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学医学部附属病院 泌尿器科 青木芳隆
電話：0776-61-8126 E-mail：aokiyosh@u-fukui.ac.jp

○苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係
電話：0776-61-8614